



難破した船の中
で幸運にも一人
生き残った
ロビン少年
しかし
生きることは
絶望と希望の
くりかえしで
あります



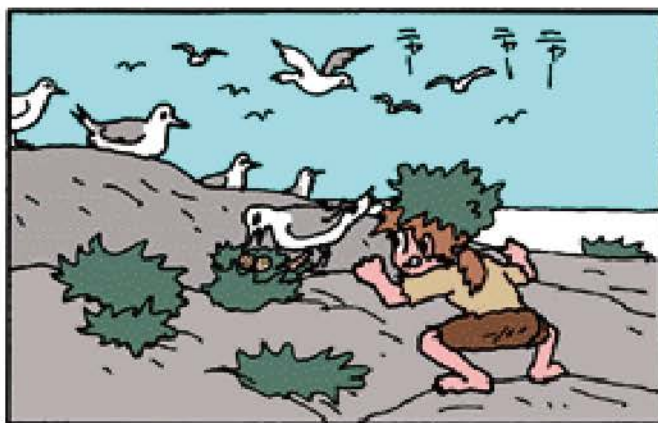
人間は
豊かで安全に
ぜいたくに
暮らせること
が幸せとは
かぎりません



ぜいたくに
慣れ
心のときめき
感動を失うほ
うが
よほど不幸な
ことといわれ
ばなりません



ロビンは
不幸な中でも
よろこびや
楽しみを見つ
けるのが
たいへん上手
な少年でした







ガイコツの
洞窟の奥に
進むとホコリ
だらけの
木箱が
ありました

へんげん
の
宝庫の
扉だ



箱をあけてビックリ
中にはダイヤモンド
やルビーなどの宝石
と金貨がいっぱい
入っていました



大金持ちだと
喜んだものの
島を脱出できな
ければ
ただの石ころと
かわりありません

あがき
さの
宝石
だま



箱の中に
日記帳があり
ロビンが読める
言葉で書いて
ありました

お
お
お



日記はジムという
人でアジアとヨー
ロッパの貿易で大
金持ちになったと
書いてありました



貧しい農家の子
でしたが金の力
で貴族のような
暮らし

金の力で
自分の名をつけ
た港も作りまし
た



金があれば
思いのまま
人々はジムの金
目当てですり
寄って来ました

大臣はものいり
でしてな...
なにとそジム様
のお力をお借りし
たのでがんす

内密の
相談が

イェ
イェ
イェ



そのためもっと
たくさんお金が
必要になり

嵐が来る季節
に危険な航海
に出ること
になったのです

う



自分の新型船
なら少々のも
嵐はなんでも
ないと甘く
考えたのが
まちがいで
した



三日三晩
モーレツな
嵐に船は
もみくちゃに
され

乗組員と船は
海のもくずと
なって沈んで
しまった



ジムはただ
一人でこの
無人島に流
れついでい
たのです



大金持ちに
なり自然の大きき
恐ろしい力を
甘く考えたことを
後悔しましたが
あとのまつり



一緒に流れ
着いた宝石も
絶海の孤島では
なんの役にも
たちません



いまのジムには
わずかなボロ布や
割れた陶器のほう
がダイヤモンド
ルビーより
よほど貴重
でした

おおっ
こいつで
お茶が
飲めるぞ



海鳥が巣をつくる
島だったおかげで
鳥をつかまえ
干し肉にして
保存食に
しました



はじめの頃は
島を脱出する
夢を毎晩の
ようにみました
が・・・

かゆゆめ
月日がたつに
つれあきらめ
に変わりました



島を抜け出す方法がないと悟ってからはジムの心は逆に落ち着きを取り戻しました



この島で生き抜くことだけを考えよう。自分は野蛮人ではない自分のためにも目的を持つとう



たぶん将来自分のようにこの島に漂着する遭難者がいるかもしれない



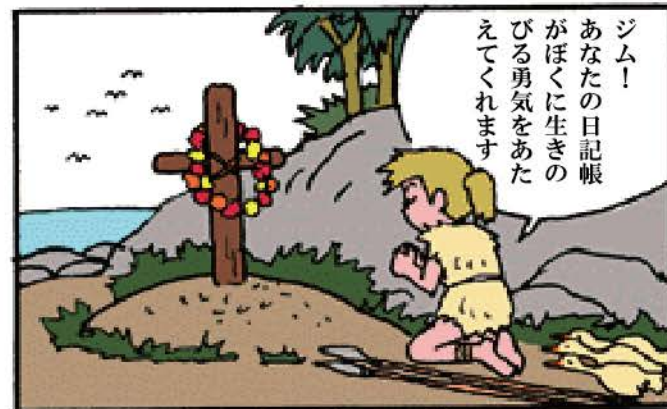
その者のためこの島で生き抜く技をできるだけまとめて残すことを日課にしよう



島の自然や気候の特徴などこの島のことろがびっしり記されたノートです



おかげでロビンは海鳥を捕まえ保存食を作る手順や羽毛で衣類を作る方法も学びました



ジム！あなたの日記帳がほくに生きのびる勇気をあたえてくれます



会ったこともないジムを今では肉親のように近い存在に感じるロビンでした



東成区の昭和(41)



東成区の昭和(42)



